

平成 30 年 2 月
第 379 号



絶好のどんと焼き日和(西北地区)1/14



お お く て 大 湫



おもな内容

- ・旧大湫小学校の思い出 … P2
- ・大湫町の新成人 … P3
- ・大湫のどんと焼き … P4～P5
- ・釜戸中学校 … P6
- ・郷土の歴史を語る … 7

平成 30 年「成人式」1/7 (日)
「おめでとう。大湫町の新成人」
(渡邊結機さん他 2 名)

旧大湫小学校

大湫小学校の思い出

小栗 和明

小学校の思い出は、たくさんありすぎて何から書こうか迷ってしまいますが・・・。



私が大湫小学校に入学したのは、昭和 33 年 4 月で古い木造校舎でした。1 年生の途中に出来立てのピカピカの現校舎に引っ越しをして、すごくうれしかったことを覚えています。それから 3 年生の頃だったと思いますが給食が始まり、家ではなかなか食べられない献立が出て、毎日楽しみだったこと、「うまかったー」。上級生になったころ鼓笛隊が出来、釜戸の駅前



通りを堂々とパレードしたこと、自分達の文集を鉄筆で書きガリ版印刷したこと（今も大切な宝物として所持）、修学旅行

で伊勢へ行ったこと、他にも運動会や学芸会、教員住宅へ遊びに行ったことなど次から次へと思い出されます。卒業時には、同窓生男子 7 名、女子 9 名の 16 名でした。卒業後しばらく間がありましたが、今度は自分の子供を通じてまた、PTA 役員を通じて小学校と深く関わらせて頂くことになり、たくさんの思い出が増えました。

昨年、小学校が解体されることが決まったことを受け、緊急に同窓会開催を呼びかけましたところ、同窓生はもとより、5 年生の時の担任井戸先生や 6 年生(5・6 年複式)の担任玉井(堀部)先生も駆けつけて来てくれました。窓越しに見られる校舎内は、当時の面影はありませんでしたが、なんだか小学生にタイムスリップしたような感覚になり、ピカピカの頃の景色が鮮明によみがえって来ました。懐かしい思い出話をしながら最後の姿をしっかり頭に記憶すべく見て回りました。

小学校の校舎は間もなく跡形も無くなり、とても寂しい感はありますが私の頭の中には、生涯忘れることなく生き生きと残ることでしょう。

「大湫小学校よ、たくさんの思い出を
ありがとう…お疲れ様でした」

次回は、西区の渡辺弘一氏です。

両親への感謝



渡邊 結機

先日成人式を
迎えさせていただ
き、改めてここま
で育ててくれた両

親への感謝の気持ちを感じました。

私は中学校の時、人間関係や将来の
ことで悩み登校が困難な時期があり
ました。そんなとき母は私の話を真剣
に聞いてくれ、カウンセリングや中学
にも一緒に行って相談してくれまし
た。

父は、中学校の時は見守ってくれ、
高校と大学へ進学させてくれました。
私は絵を描くことが好きで、デザイン
を学ぶ高校へ行きたいと言った時も
迷わず応援してくれました。

私は今芸術大学に通い、ビジュアル
デザインを学び、将来はデザイナーに

なりたいと思っています。今の私がい
るのは父と母のおかげです。まだ迷惑
を掛ける時もあるかもしれませんが、
いつか二人に恩返しができるよう、夢
に向かって頑張ります。

「二十歳になって」

北澤 李沙

私は今年成人を迎えて、大人の仲間
入りをしました。まだあまり大人にな
ったという実感はありませんが、自覚
や責任を持った大人になれるよう頑
張ります。

また今後は、ここまで自分を育てく
れた家族を支えていけるようにした
いと思います。

*奥村康平さんも新成人となら
れました。

“おめでとうございませす”

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

12月：37便 延べ70名

皆さん、もっと々利用してく
ださいね。

利用者が少ないと、運行本数
が減ってしまうかも・・・！

*大湫宿お休み処

2月の営業はお休みして
おります。

*おもだか屋『ほっか』

2月営業日

(原則) 毎週金・土・日曜日

営業時間 AM10:00～PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事も
あります)



大湫のどんど焼き 1/14

前夜までの雪を心配しましたが、青空がまぶしいくらいの快晴に恵まれ、足又・西北合同・神田の3地区にわかれ「どんど焼き」が行われました。今年はこの地区も昨年より大勢の方が参加されました。

「西・北地区」



子ども代表による点火式でスタートです

【言い伝え】

- ・竹の爆ぜる音は災いを退ける
- ・高く上る煙に乗って正月の神様が帰る（神様を空に送る）
- ・燃やした書初めの紙が高く舞い上がると習字が上手になり勉強もできるようになる



公民館の古い大しめ縄飾りもお役目を終えて・・・



お神酒を一杯



熾で餅や鱈、他にもウイナーにスルメにネギマなど…焼いて、1年中の無病息災を祈願

みんなで食べると一段とおいしいね



「神田地区」

地区役員と地区の子ども会が中心となっ
て行いました。

書初めの紙よ・・・
空高く舞い上がれ～！



農道沿いに家族で、隣近所同志でそれぞれ
が並ぶように場所を確保し、みんな仲良く
1年の五穀豊穡など祈りました



新年の子ども達も大人も世代を超えて楽しめる大切な行事。大湫町の中
でさまざまな行事に参加することで、大人になって担っていく役割等が次
の世代に伝わることを切に願います。

リ・アップ「ひよも」だより

2月のお茶のみ会のおさそい

日 時：2月7日（水曜日）9：30～11：00頃まで

場 所：ふれあいセンター

参加費： 50円

お待ちしております

“岐阜新聞社賞” 釜戸中学校

「かべ新聞コンクール 2017～

ぎふっ子応援プログラム」(岐阜新聞社)

おめでとう
ございます



岐阜新聞社賞
瑞浪市立釜戸中3年3G

2泊3日の東京研修をもとに作りしました。「釜戸発東京行き」として、最後に電車を乗り間違え、時間行動の大切さを痛感しました。記事を書いた5人で一緒に新聞づくりを考え、進めることができました。小栗英介さん、市川大翔さん、棚橋龍二郎さん、與川美佑さん、水野夢夏さん



3G いざ、大都会へ!!
浅草
後記
1945年3月10日

釜中ボランティア連合 12/26

寒々とした凍てつくような気温となった2学期終業日に、地元中学生が大湫公民館の講堂を地域への感謝を込めて清掃してくれました。



“ありがとう
ございました”



青色回転灯防犯パトロール

2月のパトロール予定者



2/上旬：高木正明、植村 準
2/下旬：棚橋 悟、奥村義二

『瑞浪の地下壕』のこと、知っていますか？

「郷土の歴史を語る会」（公民館主催、寿大学・長寿会協賛）が1月18日、公民館で開催されました。釜戸地区にお住まいの中根 良享さんが、「釜戸の歴史」について戦争中の様子に焦点を合わせ報告。18名の参加者が興味深く報告を聞きました。

1938（昭和13）年、釜戸駅から出征兵士を見送ったこと、戦争が激しくなった1943（昭和18）年頃には、毎日のように釜戸駅から十数名の兵士を見送った歴史が語られました。

1945年初めには、釜戸地区に「飛行機を製作する地下工場が計画、掘削工事が3月に始まった」との報告。在日朝鮮人が動員され、坑夫として働く彼らを宿泊させたとか。参加者の多くの人はそのことを知りませんでした。

また、今はその面影もない「権現山刈安神社」に、戦争中は多くの参拝者が近郷近在から押し寄せた話もありました。刈安神社が戦勝祈願や武運長久を叶える神社だったのです。



多治見から大湫に疎開してきた人もありました。多治見駅周辺はアメリカ軍による空襲で焼け野原。強制疎開が始まり、親類を頼って「ここ大湫に来て、そのまま今も住んでいる」と、参加者の一人。別の方からは「友達が疎開してきた」とも。

伊勢湾台風（1959年）にも話しがおよびました。「神田区では、3軒ほどの家屋が倒壊した」「本陣山の木がたくさん倒れた」「屋内にいるのは危険だからと、竹やぶに逃げた」などなど。次々思い出される惨状や状況。

このような会を開催されるにあたり、その契機を与えて下さった中根良享さんに参加者から感謝の声が聞かれました。（文責：長谷川 明）

* 『国防婦人会釜戸村分會第四支部 記録簿・記録帳』、『瑞浪の地下壕』瑞浪日朝友好協会編を読み解き、今回の報告となったとお話しになりました。なお、『瑞浪の地下壕』は中央図書館にあります。

いきもの語り (8)

冬来たりなば春遠からじ

まもなく立春。暦の上では春となりますが、実感として春を感じられるのは、もう少し後。

生きものにとって冬は苛酷な季節ですが、さまざまな工夫で乗り越えます。コナラやサクラの冬芽は鱗のような皮(鱗片)でしっかりと覆われ、シデコブシはビロード(ベルベット)のような皮に包まれています。暖かそうです。乾燥する冬は、葉から水分が失われるのを防がねばならず、温度が低くても、二酸化炭素と水から養分を作り出す葉の役割は期待できません。それでは葉の役割を果たせず、不要です。そのため、秋になれば葉を落としてしまいます。



冬期、タンポポやハルジオンは葉を地面にへばりつけ、広げ(ロゼット状)、土の温度と太陽の光をしっかりと受けています。地上部の葉や茎は枯れ、土の中に根や球根だけ残し、寒さを凌ぐものもあります。

敢えて冬に葉を茂らせる植物もいます。ヒガンバナ。冬は多くの植物が葉を落とし、光を独り占めにできる利点があるからです。春、本番となり他の植物が葉を茂らせるころ、ヒガンバナは、冬の間作り続けた養分を球根に蓄え、葉を枯らして眠りに入ります。争いを避ける戦術、「住み分け」の一種でしょう。なんと、けなげ…。



秋に葉を落とし、翌春再び葉を作ることは不経済。そのためか、厳しい冬も葉を落とさない植物があります。ツバキやサザンカ、ソヨゴなどは葉を落としません。葉が凍らないように糖分を増やしたり、厚くしたりすることなどの対応で寒さに耐えているようです。

この常緑植物の葉にも老廃物は溜まるので、古くなった葉を新しくする必要があります。新しい芽が出るころ葉を落とし更新します。

春を実感するサクラの開花は、もう少し先です。このサクラの開花日、桜前線は南から北へ北上し、5月の上旬に北海道に到達します。ところが最近、サクラの開花の様子がおかしくなっています。鹿児島の開花日が岐

阜の開花日より遅くなっているのです。2016年、鹿児島4月5日、岐阜3月28日。翌年、鹿児島と岐阜は、ともに3月26日（気象庁発表）。

サクラのつぼみ（花芽）は夏にできます。そのまま休眠に入りますが、低温に遇うことで眠りから覚め、温度が高くなると咲きます。冬は春の準備期間。つまり冬が寒くないと眠りから覚めにくくなり、温暖化による暖かな冬がサクラの開花を狂わせているようです。

温度ではなく、光が目覚めを促すのに大きな役割を果たすことがあります。ヒトの目覚めにも大いに関係があります。朝、太陽光を浴びることで、体内時計を調整し、リズムを取り戻します。

生きものは自然の中で生かされているのです。

丸森だより

寒さ厳しい折、いかがお過ごしでしょうか。

2月の丸森では、節分・立春を過ぎてからお雛様を飾ります。

2月14日はバレンタインデー、ささやかなプレゼントを用意しておりますので、



ぜひお雛様を見に来てください。

募集中

オススメ！大湫分室の本
「だれでもかんたん！ カラフルくつ下」

松本恵衣子：著

あったかい毛糸の靴下。ですが、編むのは案外大変です。特にかかと部分が難しいのですが……この本の画期的な編み方なら、素敵な靴下が作れます！

公民館ロビー展示

館内ロビーに皆さんの作品を展示してみませんか？

(壁面・ガラスケース)

公民館：Tel63-2360

一月の俳句

山口雪子

狛犬の胴の片方に初日かな
初詣ただ一つなる祈願して

天野辰代

除夜の鐘

盆地の村を

包みけり



紅白に青も添へたる餅の花

萌 エツ子

散歩道今日は向こうに恵那の雪
シヤリシヤリと



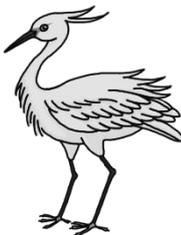
雪をかき分け
奈々を摘む

足立 亘

雪踊る紅葉の梢ほの赤い

(日本海側には大雪警報が出ている。私たちの里にも雪雲が流れ来て風花を舞散らす。それでも自然は着実に春の訪れに備えている。)

北風に凜と佇む逸れ鷺



(窓越しに眺めると、どこからともなく一羽の鷺が舞い降り、小屋の棟に止まった。空を覆う雪雲を見つめ微動だにしない。寒さが一層募る。)

確定申告相談日

(大湫会場)

開催日: 3月7日(水)

時間: 9時~11時30分



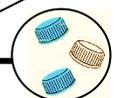
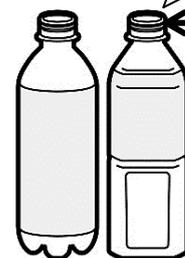
“ちょっと、待った！その出し方あってますか？”

資源ごみの分別について

空き缶内へのスプレー缶やさびた缶が混入また、びんのふたやペットボトルのふた(エコキャップ)も出されてました。これらは、不燃ごみや燃えるごみに出して下さい。『家庭ごみの分け方, 出し方 便利帳』で確認下さい。

スプレー缶は「不燃ごみ」です。穴を開けて収集日に出す事

エコキャップは、外して「燃えるごみ」に出す事



新しい年の幕開け

町内の皆様、何はともあれ、元気で歳を重ねることができましたことを喜びたいと思います。『九十歳、何がめでたい』という佐藤愛子さんの本を読みました。読者を題材にベストセラ―になりました。小説は、面白く程々の嘘を書けと聞いたことがあります。

人生五十年の時代から、平均寿命八十歳の超高齢化社会になりました。三十歳も長く生きられる時代です。「いいことばかり」でなく「悪いこと」もあつて当然です。年々便利で豊かな生活が出来るようになりましたが、機械でも寿命があり、修理をしなくては使えません。ましてや生身の人間、すり減ったり機能が低下したりすれば、交換が必要になってきます。幾ら医学が進歩したとはいえ人体ほど精巧で感

情を持ち合わせた動物はいません。

よく「何のために生まれて来たか」と問われることがあります。「百姓ほどつまらぬものはない」と言われますが、「金儲けなら医者がいい」とか「安定した生活を望むなら公務員が一番だ」とも言われております。何にしても「努力する者が報われる」世の中を望みたいものです。

経済界には「儲かるから」といって、社会に害を及ぼす物を作って売る企業も多く、「道徳心の伴わない経済は罪悪だ」と言われますが、昨今は目に余ります。

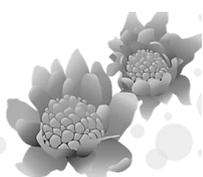
特に食料品の場合、農薬を使った野菜や添加物を使った加工食品が多くなっています。自給率が四十%を切っている日本、輸入食料に頼って飽食していて大丈夫でしょうか。

「少子化は国難だ」と言う割に危機

感がないのが不思議だが、政治家は次の選挙を考え、財界は不況に備えて儲けを蓄積します。教育界は理工系に力を入れて経済大国を夢見ています。これで安心安全な国づくりができるでしょうか？少子化も若者が結婚しないも、将来に不安があるからではないでしょうか？

一月十八日に公民館主催の「郷土の歴史を語る会」がありました。今まで大きな災害もなく過ぎてきましたが、近年は記録的な猛暑や局地的豪雨、超大型の台風が頻発しております。自然災害は致し方ないとして、日頃の健康管理は病院や薬にだけ頼ることなく、「もう歳だ」と引き籠もらず、積極的にボランティア活動に参加したいものです。

天野長三郎





H.30

2月の集まる会

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まる会

☆2月の集まる会は 13(火), 24(土), 27(火)

2/13(火) ○○○



10時から12時まで
ふれあいセンター内の老人作業所で
何かカンタンなもの作りを
しながらおしゃべりします。
あたたかい所ですよ!!
小さなお子たちも、誰でも来て下さいね!
集まりましょう!!

2/24(土) ○○○

書き初め展に
行ける人は
2/10くらいまでに
棚橋まで
お知らせください

釜戸小の子たちの書き初め展
を中仙道ゴルフ場へ見に
行きます!!

11時に大湫公民館前に
集まって下さい! ゴルフ場の車の
送迎で行きます。(ゴルフ場の方々
ありがとうございます。お世話になります)
ゴルフ場でお昼もしましょう。
(お昼代は実費になります...)

2/27(火) ○○○

どんぶりやまがはくり
で何か作ったり
石に絵を描いたり
してもいいね...

10時から12時まで
ふれあいセンター内老人作業所です
かんたんで楽しいもの作りをひながら
おしゃべりです。みなさん集まって下さいね~

区長日記

今年の瑞浪市報の表紙は、「丸森の花餅飾り」でした。町民の皆様も、きつと笑顔で新春のスタートを切って頂いたのではないかと嬉しく思っております。関係者のお骨折りに感謝申し上げます。

また一方で、神社仏閣の運営に役員の方々が熱心に取り組みいただき、伊勢参り七十周年の記念事業・宗昌寺晋山式への取り組みなど、地域にとって大切な節目の年になりそうです。

先日は、愛知県の都市住宅学会から、大湫町の転入対策活動について発表してもらいたいとの依頼があり、小栗コミ会長・棚橋転入対策委員長とともに参加して参りました。今全国で空き家が増加し、この問題を如何に解決していくかが、大きな社会問題になっています。

私たちも小さな活動の積み重ねではありますが、集落の規模が小さいわけですから、努力した成果は確実に上がっていきます。

空き家を何時までも放置しておかないで、有効な活用に

繋げていく活動を鋭意取り組み、新たな転入者の皆さんとともに住んで良かった町づくりを推進したいと思います。

区長会長 足立

1月5・6日 神社庁伊勢参り

7日 成人式

8日 消防出初式

10日 定例区長会・幹事会

12日 瑞浪市公共交通対策会議

14日 どんと焼き・新年会

15日 大湫病院水利現地調査

16日 転入対策委員会都市住宅学会研究会発表

17日 臼井重喜氏叙勲祝賀会（陶町）

18日 中根氏「郷土の歴史を語る会」

19日 区長会・幹事会新年会

21日 転入対策空き家整備活動（神田）

25日 市政OB会「市長市政報告会」

26日 カタノ・大湫機械化営農組合懇談会

30日 自然保全委員会

平成三十年二月行事予定

日	曜	予定
二	金	定例区長・幹事会／釜中半日入学
五	月	財産区全員会議
七	水	リ・アップ「ひよも」
九	金	釜小半日入学
十	土	おしゃべりサロン 第二回公民館運営会議
一	日	*建国記念の日
二	月	振替休日
三	火	集まるう会
六	金	観光ボランティア・丸森研修視察
七	土	釜小授業参観日
八	日	第二回市青少年育成市民会議
三	金	釜中授業参観日
四	土	おしゃべりサロン／集まるう会
七	火	集まるう会
八	水	広報委員会

今月の資源ごみ: 2/20(火) 不燃ごみ: 2/6(火)

編集後記

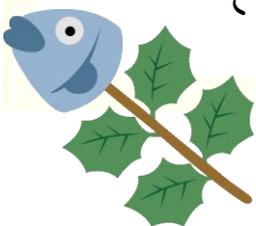
なんとなく過
ごしているわけ

でもないが、あっという間に一カ月が経ってしまいました。過ぎてみると月日が経つのが早くて・・・!

気が付けば、もう2月。今年は、冬季オリンピックが始まります。前回のソチ・シャーンに押されながらも「若い力」が夢と感動を与えてくれました。

今回はどんなドラマが待っているでしょうか?

どんな時代も「若い力」が社会を活気づけてくれます。高齢化が進む大湫にもこんな「若い力」に期待したいです
すね・・・y



編集発行: 大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
平成30年2月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL 0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>